

アストラゼネカ株式会社が棚田の農作業支援を実施

< 兵庫県 >

市町村・集落の名称	佐用町 乙大木谷・田和・西新宿集落
協働の相手（企業や大学等）の名称	アストラゼネカ株式会社
仲介者・コーディネーターの名称	東京ボランティア・市民活動センター 特定非営利活動法人 棚田ネットワーク
協働のポイント	3集落とも従来から棚田交流人やふるさと村活動でのボランティアを受け入れている集落であり、活動場所が棚田での依頼であったことから要望に合致し特に問題はなかった。
協働のきっかけ・経緯	平成18年6月：早大名誉教授中島先生より受入依頼 7月：市民活動センター・棚田ネットワークより依頼文書 8月：上記2団体とアストラゼネカ(株)より受入詳細文書
取組の具体的な内容	アストラゼネカ株式会社の従業員約80名が佐用町の乙大木谷・田和・西新宿の3集落の棚田において、草取り・草刈りなど農作業支援のボランティア活動を実施
農村地域への効果	高齢化の進展している中山間地域の高齢者にとって、若い人と戸外で交流を行うことは活力の源であり、一日だけでも地域に活力が戻ったと感じられる。
都市部の主体（企業や大学等）への効果	社員へのアンケート調査によると交流や活動はよかったとの回答が多かったことや、自然の景観・社会貢献活動・過疎化など農村への関心が高まったとの回答により、一定の効果があったと考えられる。
仲介者等の役割	会社が予定した活動に合致する受入先を調査・決定
今後の課題	今までの活動における課題は特にないと考えるが、今後益々高齢化は進展すると考えられるので活動の継続化が望まれる。また、年間を通しての活動が出来る人が育つことを望む。
関連事業（国・都道府県等）	農村ボランティア制度（兵庫県）

(活動状況写真等)

